

ユネスコ無形文化遺産
『風流踊』登録記念

都みやこの風流ふうりゅう踊おどり

2023年
6月24日(土)
13:00 開場 / 13:30 開演

※終演は 16:30 予定

入場無料

全席自由

事前申込制



お申込フォーム

■会場
京都市呉竹文化センター

■講演 13:30~
「風流踊の系譜」 山路 興造 (芸能史研究家)

■映像 14:30~
「久多の花笠踊」

■映像と風流花傘の紹介 14:40~
「やすらい花」 今宮やすらい会

■実演 15:00~
[念仏六斎] 上鳥羽橋上鉦講中「焼香太鼓」
[芸能六斎] 久世六斎保存会「祇園囃子」「四ツ太鼓」「やぐら」「源平盛衰記」
[芸能六斎] 中堂寺六斎会「獅子太鼓」「獅子と土蜘蛛」

2022年11月、全国各地に伝わる41件の重要無形民俗文化財が『風流踊』としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。京都からは『久多の花笠踊』『やすらい花』『京都の六斎念仏』が選ばれたことを記念し、千年の都に今も息づく風流踊の特色を講演で学んだのち、映像と実演をご覧いただく催しを開催いたします。

都の風流踊

山路 興造 YAMAJI, Kouzo



1939年東京・渋谷生まれ。早稲田大学教育学部卒業。国立文化財研究所芸能部（現東京文化財研究所無形文化遺産部）嘱託、平凡社地方資料研究センター所員、京都市歴史資料館主幹を経て、1992年に同館館長。のち京都市文化財保護課参与。一貫して、芸能史及び民俗芸能の研究に携わる。元民俗芸能学会代表理事、元芸能史研究会代表委員。著書に『翁の座―芸能民たちの中世』（1990年、平凡社）、『京都 芸能と民俗の文化史』（2009年、思文閣出版）、『中世芸能の底流』（2010年、岩田書院）、『近世芸能の胎動』（2010年、八木書店）など。

久多の花笠踊

京都市左京区久多で毎年8月24日に行われる。5月5日の午祭で志古淵神社にかけた祈願の願ばらしとして、8月に行われる風流の燈籠踊り。久多の5か町それぞれに花宿を定め、8月14日から村の男性が集って精巧な造花を作る。8月24日の晩、上の宮神社から大川神社を経て志古淵神社に練りこむ。志古淵神社では、先番3曲、後番4曲の計7曲が披露され、上組（上の町と中の町）と下組（下の町と宮の町と川合町）が毎年交互につとめる。歌は、室町小歌の流れを汲むもので、上組と下組あわせて130番余りの歌の詞章が残されている。

やすらい花

京都市北区の紫野（今宮やすらい花）、西賀茂（川上やすらい花）、雲林院（玄武やすらい花）で毎年4月第2日曜日に、上賀茂（上賀茂やすらい花）で毎年5月15日に行われる。古来、春に花が散る際に疫神も飛び散るといわれ、その疫神を鎮める行事として行われている。江戸時代には3月10日に行われ、花を飾った風流花傘を中心に行列を組み、町の辻々で踊りながら今宮神社境内の疫神社に送るというものだった。現在、4つの地区で伝承されており、シャグマを被った鬼が鉦や太鼓を打ちながら、笛と歌にあわせて踊る。また、風流花傘の中に入ると厄除けになるという信仰があり、沿道の人々にぎわう。平安時代後期の「梁塵秘抄口伝集」や鎌倉時代の「百鍊鈔」には、久寿元年（1154）3月にこの行事が行われた様子が記されている。

京都の六斎念仏

京都市北区（小山郷六斎、西方寺六斎）、上京区（千本六斎）、中京区（壬生六斎）、東山区（六波羅蜜寺空也踊躍念仏）、下京区（中堂寺六斎）、南区（上鳥羽六斎、吉祥院六斎、久世六斎）、右京区（梅津六斎、円覚寺六斎、郡空也念仏、西院六斎、嵯峨野六斎）、西京区（桂六斎）の15地区に伝わる。六斎とは、もともと毎月8日、14日、15日、23日、29日、30日の計6日の斎日のことで、悪鬼が人命を奪う不吉の日とされ、この日に鉦・太鼓などを打ち鳴らし、念仏や和讃などを唱えたのが六斎念仏の始まりという。京都の六斎念仏の演目は、焼香太鼓・飛観音などの念仏系、道成寺・鉄輪などの能楽系、願人坊主などの歌舞伎系、そして祇園囃子、四つ太鼓などがあり多種多様であることが特徴である。各保存会では、お盆に地区の家々を回る棚経や、寺社境内で全ての演目を披露する一山打ちなどを行っている。

京都市呉竹文化センター

（京都市伏見区京町南七丁目35番地の1）

京阪本線「丹波橋駅」西口前／近鉄京都線「近鉄丹波橋駅」西口前
市バス「板橋」下車、西へ徒歩5～8分（南8系統）

お申込は以下のいずれかの方法をお願いします。

※ご記入いただいた個人情報は、『都の風流踊』に関するご連絡のみに使用します。法令に基づく場合を除いて、第三者へ提供することはありません。

オンライン 6/20(火) 24:00まで受付

右のQRコードからお申込フォーム
(<https://forms.gle/NA61inTs4ebpcvFf7>)
にアクセスし、必要事項をご記入の上、
お申込ください。
お問い合わせ：kyofuryu@gmail.com



お申込フォーム

往復はがき 6/16(金) 必着

以下の書き方を参考に必要事項をご記入の上、お申込ください。

往信（オモテ） 返信（ウラ）

600-8387 京の風流踊振興会 宛 京都市下京区高辻大宮町 一三三六〇一	この面は余白（未記入） をお願いします
---	--------------------------------

返信（オモテ） 往信（ウラ）

（代表者氏名）様 （代表者住所）	- 都の風流踊申込 - 代表者 氏名（フリガナ） - 参加人数 ※最大2名まで - 郵送番号・住所 - 電話番号 - 年齢
--------------------------------	--

窓口 6/23(金) 17:00まで受付

京都市呉竹文化センターへお越しいただき、窓口で「都の風流踊申込」とお伝えください。入場整理券（1枚で2名入場可）をお渡しします。 ※お一人様整理券1枚まで。



※一般向け駐車場はありません。公共交通機関でお越しください。